別記(三)

宣言

世人「今日の危機」を言ふ。世人「資本主義行詰り」を言ふ。
危機とは何ぞや。失業、恐慌、窮乏――言ひ換へれば大衆を脅威する生活不安こそが今日の危機を構成する主要点である。
行詰りとは何ぞや。財閥戰、馬賊半手、貨幣切下、戰爭の危機――内外を結ぶ経済的急迫こそが資本主義行詰りの実相である。
全國労働組合同盟第五回大會は、かゝる國内國際の危局に当面し、労働階級の観点に立つ現実の斗爭形態を確立すべき事をその仕務とする。
新たに掲げられたる運動方針はかゝる精神を拡充し、
健実にして実行的運動を展開する事が一九三五年の我等の仕事である。

- プロレタリア反対
- 資本主義打倒
- 戰爭の危機防止
- 労働立法の制定
- 大衆生活の安定
- 全日労働万才

一九三四年十一月二十日

全國労働組合同盟第五回大會

労秘第二三一〇號

昭和九年十一月十四日　警視總監　小栗一雄

内務大臣　後藤文夫殿

社會局長官殿

廳府縣長官殿

課長
事務主任

全國労働組合同盟東京地方聯合會ト日本労働同盟東京聯合會ノ合同ニ關スル件

要旨

1. 本年十一月一日全労並労働同盟双方何レモ正式機関ニ諮リ合同ヲ決議ス
2. 翌二日労働同盟代表四名ハ全労中央委員ト會見合同申込書ヲ提示シ全労ハ同日聲明書ヲ發表スルト共ニ翌三日合同祝詞書ヲ手交ス
3. 而シテ同三日全労本部ニ於テ各四名宛出席合同委員會ヲ開催諸報ノ準備ヲ整ヘ十一月十日芝協調會館ニ百二十名會同代表者會議ヲ持チ合同セルカ之ニ依リ全労八〇〇余名ノ組織ヲ擁合スルニ至レリ

9.1